

急性増悪による入院治療が間質性肺疾患患者の日常生活活動能力に及ぼす影響

■ 研究の対象となる方

2013年4月1日～2020年3月31日に間質性肺疾患の急性増悪のために当院へ入院された方

■ 目的と方法

この研究は、間質性肺疾患の急性増悪（急激な呼吸状態の悪化）のために入院された患者さんを対象に、入院後の日常生活活動能力への影響と、そこにどのようなことが関連しているのかを明らかにすることを目的としています。これにより、入院後の日常生活活動能力の低下を最小限にするための方策（ケアやリハビリなどのあり方）の考案に役立つことが期待できます。

カルテ情報を用いて、対象者の方の特徴や入院前後での日常生活活動能力の変化・特徴を検討するほか、日常生活活動能力の低下に何が関連していたのかを解析します。

■ 実施期間

2020年8月17日～2022年3月31日

■ 研究に使用する情報

患者背景、検査所見、治療内容、ADL能力、帰結など

診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

■ 研究の実施体制

研究代表 長崎大学病院 リハビリテーション部 神津 玲（理学療法士）

共同研究施設 済生会熊本病院 リハビリテーション部

聖隷三方原病院

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 リハビリテーション部 主任 森下一樹（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000（代表）
-----	--